

2025 年 7 月 31 日

朝日新聞社

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

〈報道関係のみなさま〉

朝日新聞の連載小説『国宝』、書籍販売が累計130万部を突破

吉沢亮さん、横浜流星さん出演の原作映画也大ヒット 中村鴈治郎さん招くイベントも



文庫『国宝 上下巻(青春篇・花道篇)』(朝日新聞出版)が、重版を重ね、単行本や電子版を含めると累計 130 万部を超える大ヒットとなっています。本書は 2017 年から 18 年に朝日新聞紙上で連載され、大反響を呼んだ吉田修一さんの小説『国宝』を加筆修正したもの。本書を原作とする映画『国宝』も 6 月の公開以降、主演の吉沢亮さん、共演の横浜流星さんら俳優陣の演技に魅了され、観客動員数が 500 万人突破目前というWメガヒットとなっています。

お問い合わせ

朝日新聞社 広報部

E-mail koho2025@asahi.com

2025 年 7 月 31 日

朝日新聞社

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

『国宝』は緻密な描写と深い人間ドラマが高く評価され、芸術選奨文部科学大臣賞(2018 年)、中央公論文芸賞(19 年)をダブル受賞し、全国の書店でも完売店が続出。日本文学の伝統に脈々と流れる芸道小説の金字塔にして、『悪人』などと並ぶ著者の最高傑作との声もあがっています。

今年 6 月に小説を原作とする映画『国宝』が公開されると、原作の圧倒的な力に、映像美、そして吉沢さん、流星さんら俳優陣の迫力ある演技が観る者を圧倒。幅広い年齢層から支持され、口コミとなってSNSで拡散するなどし、7 月 21 日までの公開 46 日間で興行収入 68.5 億円、観客動員数は 486 万人を突破、週刊誌でも特集が組まれるなどその盛り上がりは社会現象化しつつあります。

朝日新聞の連載小説を原作とする映画は、こちらも吉田さんの『悪人』(2006～07 年連載、2010 年公開)のほか、綿矢りささんの『私をくいとめて』(2016 年連載、20 年公開)、横浜流星さんが主演をつとめた沢木耕太郎さんの『春に散る』(2015～16 年連載、23 年公開)があり、映画界からも注目されています。

◆中村鴈治郎さんによるプレミアム講座を開催 撮影秘話も

朝日新聞をはじめとする朝日新聞グループも、『国宝』の世界にとことん浸れるコンテンツを多彩に展開しています。

朝日カルチャーセンターでは 8 月 29 日(金)に、映画『国宝』に出演している歌舞伎俳優の四代目中村鴈治郎さんを新宿教室に招いて、プレミアム講座「中村鴈治郎が語る～映画『国宝』から 9 月新国立劇場「仮名手本忠臣蔵」まで～」を開催します。人間国宝・四代目坂田藤十郎を父に持ち、成駒家当主の使命も担う鴈治郎さんに、映画『国宝』の撮影秘話、9 月新国立劇場「仮名手本忠臣蔵」で臨む初役について、たっぷりとお話いただきます。幅広い芸風と人情味あふれる表現力、そして従来の愛嬌。上方歌舞伎を代表する重鎮のお話を伺える貴重な機会となります。

教室開催だけでなく、オンラインでも後日配信いたします。申し込みは[こちら](#)まで。

◆インタビューや対談など豊富なデジタルコンテンツ

朝日新聞のデジタル版では吉田さんと監督の李相日氏による大型対談で、原作小説と映画の関係のほか吉沢さんのすごみや流星さんの激しさについて2人が語り合います。作家の村山由佳さんら識者3人の読み解きもあります。

[映画「国宝」が描き出す歌舞伎界と出演者の華 李相日×吉田修一対談:朝日新聞](#)

[新鮮な映像・芝居に識者も「鳥肌」:朝日新聞](#)

お問い合わせ

朝日新聞社 広報部

E-mail koho2025@asahi.com

2025 年 7 月 31 日

朝日新聞社

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

またブックサイト「好書好日」で著者の吉田さん、主演の吉沢さんそれぞれのロングインタビューを掲載しています。

[吉田修一さん「国宝」インタビュー | 好書好日](#)

[映画「国宝」吉沢亮さんインタビュー | 好書好日](#)

朝日新聞出版も『AERA』(6月9日号)の表紙は吉沢さんが飾り、中面では吉田修一さんと吉沢亮さんの対談も実現させました。「AERA DIGITAL」に設けた特集ページには、対談のほか関連コンテンツがたっぷり。新規はもちろん、過去に配信した記事もご覧いただけます。また、『AERA』でも随時、『国宝』に出演した俳優たちのインタビューを含むミニ特集の掲載を予定しています



[『国宝』特集 ページ | AERA DIGITAL](#)

◆書籍情報

『国宝』上・下

著者: 吉田修一

レーベル: 朝日文庫(朝日新聞出版 刊)

判型: 文庫判

お問い合わせ

朝日新聞社 広報部

E-mail koho2025@asahi.com

2025 年 7 月 31 日

朝日新聞社

〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

つながれば、見えてくる。

朝日新聞社

定価: 上・下共に 880 円 (本体 800 円 + 税 10%)

ページ数: 上 408 ページ・下 432 ページ

◆本のあらすじ

物語は歌舞伎役者の家に引き取られ、芸の道に人生を捧げる主人公の 50 年を描いた壮大な一代記です。極道と梨園。生い立ちも才能も違う若き二人の役者が、芸の道に青春を捧げていく。そして、芝居だけに生きてきた男たちは、命を賭してなお、見果てぬ夢を追い求め……。芸術選奨文部科学大臣賞、中央公論文芸賞を W 受賞、吉田修一の作家生活 20 周年の節目を飾る芸道小説の金字塔。

◆映画『国宝』情報

全国東宝系にて大ヒット公開中

主演: 吉沢亮

監督: 李相日

脚本: 奥寺佐渡子

<https://kokuhou-movie.com/>

お問い合わせ

朝日新聞社 広報部

E-mail koho2025@asahi.com